

そうだ、きさいち植物園に行こう！

Let's go to Kisaichi Botanical Garden



4月～5月



ウケザキオヤマレンゲ

- モクレン科の落葉樹。ホオノキとオヤマレンゲとの雑種
- 枝先に白色の花が一つ付き、芳香を放つ
- 名前の由来は花が上向きに咲く様子から

5月



エゴノキ

- 雑木林に自生するエゴノキ科の落葉高木
- 枝先に白色の花をいっぱい咲かせる
- 果皮に含まれるエゴサポニンが泡立ちがよく、洗濯石けん等に代用

5月



カラタネオガタマ

- 中国原産の常緑の小高木。江戸時代に持ち込まれ、各地の神社などに植えられた
- 黄白色の花はバナナのような香りを放つ
- 別名はトウオガタマ

5月～6月



キンシバイ

- 中国原産の半落葉小低木
- 枝先に直径3～4cmの黄色い花を付ける
- 名前の由来は花が梅に似ており、雄しべを金色の糸にたとえたことから

※気象状況により開花時期は前後します。現在の開花状況は植物園までお問い合わせください。

まもろう 絶滅危惧種

国内では、1,700種以上の植物(コケ類と藻類を除く)が絶滅の危機に直面しており(環境省レッドリスト2020)、すでに約30種が絶滅したと考えられています。このコーナーでは、当園が保全活動を行っている絶滅危惧植物を紹介します。



ウスギワニグチソウ

[環境省カテゴリー/絶滅危惧IB類]
花期 5月

林や草原に生える多年草。花は筒状の黄緑色で、葉と同じような色をしています。国内では福岡県と長崎県(対馬)にのみ自生します。

高↑絶滅リスク↓低

大阪公立大学附属植物園(愛称:きさいち植物園)

- ☎ 891-2059 ● 交野市私市2000(私市駅徒歩6分) ● HP <https://www.omu.ac.jp/bg/>
- 開園時間 9:30～16:30(入園は16:00まで) ● 休園日 月曜日(祝休日の場合は開園)
- 入園料 大人350円/大阪府在住で65歳以上の人150円(住所と年齢が分かる公的証明書提示が必要)中学生以下無料 ● 駐車料 普通車500円/マイクロ1,000円



古いフィルムから From old film

5万人のひろば(昭和51年撮影)



10月に行われる「交野にぎわいフェスタ」の前身にあたる「交野まつり」。さらにその前身となるお祭りの様子です。「5万人のひろば」のイベント名は、当時の交野の人口から付けられており、交野まつりに名前を変える前は「6万人のひろば」まで増えていました。

山の中の水車小屋(昭和40年代前半撮影)

川のほとりに建てられた水車小屋の様子です。この場所がどこか、何に使っていた水車なのかは分かっていませんが、現在の交野には水車小屋はありませんので、とても珍しく興味深い写真です。今、この場所はどのようなになっているのでしょうか。



※当時の広報紙がモノクロ印刷であったため、カラーフィルム普及後も多くの写真がモノクロで撮影されています。※写真のコメントは、フィルムについていたメモや伝聞に基づいていますので、必ずしも正確な情報ではないことをご了承ください。なお、掲載した写真について詳細をご存じの場合は、ご連絡いただくと幸いです。